

令和4年度保護者評価アンケート結果を受けて

野っこ

今年度もアンケートに多数の方がご協力くださり、お忙しい中お時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

毎年保護者様にこのようなアンケートをお願いし、その結果を皆様にお返しするとともにとこっ子のHP上に掲載させていただいております。

アンケートの結果や記述いただいたご意見を参考に、子どもたちが見通しを持ちやすく、楽しみながら成長できる療育の場を提供できるようにしていきたいと思っております。保護者の皆様のご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

③【事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか】

Q: 今後バリアフリーについて配慮して欲しいです。

A: おっしゃる通りです。身体的にバリアフリーの必要性がある場合は配慮が必要だと思っております。現在、野っこには身体的にスロープや手すりがなければ玄関を上り下りが出来ない子はいらっしゃいません。階段の上り下りが難しい子に対し、職員が安全面の配慮をすると共に、目線の位置・身体の動かし方などのその子が持っている能力を強化することで、安全に階段の上り下りを出来るようになるにはどうしたらいいのかを考え本人の能力を伸ばし、生活の幅を広げていくための支援を行わせていただいておりますので、ご理解いただくと幸いです。

⑥【放課後児童クラブや児童館との交流障害のない子どもと活動する機会があるか】

Q1: 難しい所もあるかと思えます。交流も大事だと思えます。

Q2: コロナ後やってほしいです

A1.2: このアンケートの設問は全て、厚生労働省が『保護者評価アンケート』用に作成したものです。

この設問に関しては、日本で長い間、自分たちと異なる者を社会の傍らにおいやって見ないふりをしてきた歴史を悔い、全ての子どもや成人が障がいの有無にかかわらず、垣根のない生活を送る権利があるというノーマライゼーションの立場から、出されているものであり、『差別や行動範囲の抑制は人の尊厳の保障に反する』と言う事です。子供も親も何処に住み、どこで教育を受け、どこで働くか、などを選択し決める権利があるからです。そんな福祉の精神を持った設問では

ありますが、私たち子供に寄り添う現場の職員は長年この設問の言葉の表現に、すっきりしない思いを抱いてきました。

放課後児童クラブや児童館の職員やそこに通う子供たちが、デイとの交流を望むのか？訪問することで、『野っこ』の子ども達は楽しい思い出となるのか？

放課後児童クラブのスタッフが、一人で多くの子どもたちを見なくてはいけない現実を考えると、決して『ぜひ、遊びに来てください』といった状況ではないことは否定できないところです。また、あちらが引率して子供達を デイにつれてこられるか？と言う点も同じ理由で難しいと言わざるを得ません。

現在、子どもたちは自由に行きたいところに行き、色々な公共の施設を利用し、外食に行き、公園や遊戯施設を利用できる時代にいます。であれば、児童クラブ等との交流にこだわらず、社会に開かれた状態を保ち、子どもたちが誇りをもって成長していけるような環境を作っていくことこそが重要ではないかと考えます。

野っこの活動で行っている、おひるごはんの買い出しや、お出かけ、『とこフェス』地域との交流などを通してノーマライゼーションの達成を図っていきたいと考えております。

コロナ禍で制限も多いですが、出来ることを少しでも行っていきたくて考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

⑦【支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか】

Q: 支援の内容については丁寧な説明をして頂いています。いつもありがとうございます。夏休み中の昼食代ですが利用の3日前からはキャンセルが出来ず実費が掛かると言うことを知らずにいました。(入所の時に説明を受けていたらすみません)コロナの関係でお休みしたりすることが多く先を見通すことが難しかったです。

今後コロナの関係で利用の自粛を急に決めた場合でも昼食代はかかるのでしょうか

A: 大変失礼いたしました。入所時にはご説明させていただいていましたが、学校からの利用など給食がない期間があり、説明から時間が開いてしまうこともありますので、今後は長期休み前には、お便りに注意事項として載せるようにさせていただきます。おっしゃるとおりで、昨今ではコロナ関係での自粛など予想できない場合はあると思いますが、給食やおやつなど事前に準備させて頂いていることもあり、理由に関わらず原則としては開所日で数え3日前のキャンセルには給食費が掛かってしまいますのでご理解頂けると幸いです。

⑧【日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い発達の状況や課題について共通理解が出来るか】

Q: すべて伝えるのは難しいと思いますが、大事なところは話しています。

A: おっしゃる通りで、すべてをお伝えすることは難しいので、ポイントを絞ってお話をするところもあります。気になる点やわからない点がありましたらいつでもお申しつけください。

⑩親の会の活動の支援や、保護者同士の交友の場の提供などがされているか

Q1: 中々参加することが難しいです。すみません

Q2: 日程が間近で決まるので、もう少し早いと参加しやすいです。

Q3: 親の会は今、コロナも有りやれてないのかな？と思いますが、研修会で少し交流できていると思います。研修会は、本当に勉強になる事ばかりでとてもありがたいです。

A1: 予定が中々合わない方やお仕事をされている方など、ご参加が難しい場合もあると思います。資料だけでもお渡しすることはできますのでよろしければ職員へお声掛けいただければと思います。

A2: できる限り早くお伝え出来るようにさせていただきます。

A3: 現在できる限り多くの方に研修会へ参加していただけたらと考え、研修会の開催日を増やしております。コロナの関係もあり交流と言う点では、以前に比べ減ってしまっていると感じております。親の会とは別で行っている年2回の茶話会もコロナの影響で開催を見送る形になっておりましたので、コロナの状況も見て再開していけたらと考えております。

⑮【緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルヲ策定し、保護者に周知・説明されているか(主に契約時)】

Q: 社会変化に合わせた感染症マニュアルや気を付けている所を書面にて頂きたいです

A: 昨年度からコロナ感染者発見から保護者の方への連絡のマニュアルも作成させていただいております。書面にてすべてをお配りすると大きな冊子になってしまいますので面談時などご覧になりたい場合はお申しつけ頂ければと思います。(必要だと思う場所はコピーしてお渡することも可能です)

⑰子どもは通所を楽しみにしているか

Q1: 楽しみにしているか→だんだん変わってきましたが、(本人の中で)その都度子どもと話をしています。

Q2: 子どもが意思疎通できない、私(母)は事業所の支援に満足しています。いつもありがとうございます。

A1: こちらに関しては常に私たちの中でも課題として取り組ませて頂いております。年齢の変化や好みなど、その子その子で楽しめる活動を設定していけるよう、日々意識して計画を立てるようになさせていただきます。最近好きな遊びや趣味などありましたら教えて頂けたら活動の参考になりますさせて頂き、療育的な観点からも活動に取り入れていければと思います。

A2: ありがとうございます。その日の活動など送迎時にできる限り説明させて頂き、どういった活動をしてどういったことを楽しんでくれていたのかもお伝えできればと思います。

【全体を通して】

子どもたちの成長とはとても速いもので、アンケートや普段の送迎時など沢山の意見ご質問頂き誠にありがとうございます。これからも保護者の方々から頂いた沢山の意見・ご質問を参考により良い療育を提供していくと共に、今後も野っこを安心して利用していただく為に、保護者の方々の評価・自己評価を行い研鑽に努めて参ります。沢山の気づきを頂けたことに感謝いたします。

今回ふれていない点に関しても、疑問な点が有りましたら、随時対応させていただきます。今後とも宜しく願いいたします。

特定非営利活動法人とこっ子 野っこ

澤田 湖澄茂